

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公開番号】特開 2000-232974 (P2000-232974A)

【公開日】平成 12 年 8 月 29 日 (2000.8.29)

【出願番号】特願 平 11-76283

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/151 (2006.01)

A 6 1 B 5/145 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

G 0 1 N 1/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/14 3 0 0 D

A 6 1 B 5/14 3 1 0

A 6 1 B 5/00 A

G 0 1 N 1/10 V

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 4 日 (2006.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 穿刺デバイスと組み合わせて使用する検体採取用具であって、穿刺孔と前記穿刺デバイスのガイド部を有する検体採取用具。

【請求項 2】 生体表面に載置するための装着部を更に有する請求項 1 に記載の検体採取用具。

【請求項 3】 前記装着部は、指、腕あるいは脚に巻き付けるものである、請求項 2 に記載の検体採取用具。

【請求項 4】 前記装着部は、生体表面に接合するための粘着テープを有している、請求項 2 に記載の検体採取用具。

【請求項 5】 検体を検知するための感応部を更に有する請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の検体採取用具。

【請求項 6】 請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の検体採取用具と組み合わせて使用する穿刺デバイスであって、前記ガイド部との連結部を有する穿刺デバイス。

【請求項 7】 検体の検知部を更に有する請求項 6 に記載の穿刺デバイス。

【請求項 8】 前記検知部が前記感応部から信号を取り出すものである請求項 7 に記載の穿刺デバイス。

【請求項 9】 検体中の特定成分を定量するセンサ部を更に有する請求項 6 ないし 8 のいずれかに記載の穿刺デバイス。

【請求項 10】 穿刺デバイスと、前記穿刺デバイスと組み合わせて使用する検体採取用具と、を含む検体採取セットであって、

前記検体採取用具は、穿刺孔とガイド部とを有しており、

前記穿刺デバイスは、前記ガイド部との連結部を有していることを特徴とする検体採取セット。

【請求項 11】 前記ガイド部および前記連結部は、前記検体採取用具および前記穿刺デバイスのうちの一方に設けられた凸部と他方に設けられた凹部からなる、請求項 10

に記載の検体採取セット。

【請求項 1 2】 前記ガイド部および前記連結部は、磁石である、請求項 1 0 に記載の検体採取セット。